



ケイトウ 花言葉：おしゃれ、気取り、風変わり

四万十川ニュース Vol.116

中村河川国道事務所 平成29年9月20日

親子水難事故防止教室



更衣水泳



シュノーケリング



四万十消防署による救命訓練講習



中村警察署による発射銃の実演

四万十市百笑(どうめき)地区の河川敷で、7月17日(月)に親子水難事故防止教室を実施しました。当日は夏らしい晴れた天気となり、子ども20名、保護者や関係者など30名、合計50名の参加がありました。

子どもたちには、川の特性や危険を察知する能力や感覚を身につけながら、川で遊ぶ「楽しさ」や「怖さ」を体験してもらうことを目的に、川で流された時の対応方法、更衣水泳、ペットボトルを利用した救命道具の使い方、カヌーやシュノーケリングなどを体験してもらいました。

また、保護者には、四万十消防署によるAEDを使った救命訓練講習を実施し、参加者から熱心な質問があがっていました。さらに中村警察署には、川に流された人を助けるための発射銃、救命用ロープの実演や講習を行っていただきました。

今後もこのような機会を通じ、皆さんに川とのつきあい方を知ってもらい、川の事故を減らすとともに川に親しみをもってもらおうよう努めていきたいと思っております。

第15回 四万十川・入田元池シンポジウム

入田地区自治会の夏の恒例行事「四万十川・入田元池シンポジウム」が、今年も8月27日(日)に開催されました。この行事は、自分たちが暮らしている入田地区を知り、産業の活性化や四万十川の自然保護などについて官民が一緒になって語り合うもので、今年も入田地区の皆さんに加え、四万十川自然再生協議会、四万十市、国土交通省などを含む約40名が参加しました。

シンポジウムでは、まず、四万十市国際交流員の田 小橋(デン・ショウキョウ)さんが、「知っところ! 日中の違い」と題し、日本と中国の風景や暮らし、食文化の違いについて紹介し、続いて国土交通省から「四万十川自然再生事業」の内容や市民と協働で行った取り組み、効果について報告しました。

このほか、分野にとらわれない話題を提供する「思い切り発言」では、植田興業(株)の植田英久さんが、後継者不足に悩む我が国の今後の農業のモデルとなる「オランダ式農業」を、区長の橋本勝幸さんが、幕末に発生した土佐藩士によるフランス兵殺傷事件「堺事件」と入田地区とのつながりを、それぞれ紹介しました。

発表後の意見交換では、身近な四万十川の自然に対し、「自然再生事業の実施によって河畔林に菜の花が咲くようになり、観光客に喜ばれている!」、「四万十川の名産であるテナガエビの減少に対する手立てはないだろうか?」など、様々な発言が飛び出し関心の高さがうかがえました。

私たち国土交通省は、このような想いを大切に、地域の皆さんと連携しながら、河川管理者として地域の発展につながるよう各種事業を進めていきたいと思っております。



入田桜つつみの東屋で、心地よい風に吹かれながらのシンポジウム



田さんの講演



国土交通省の事業解説

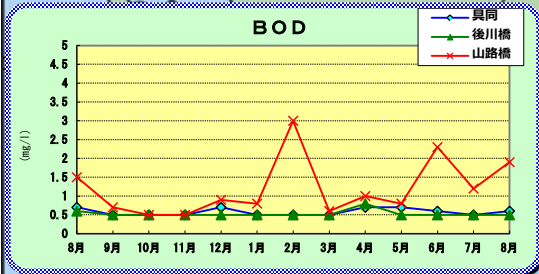
四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

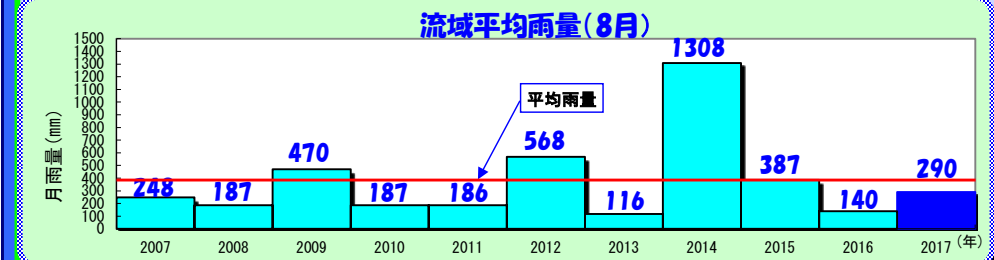
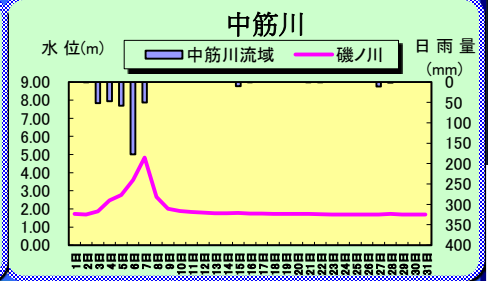
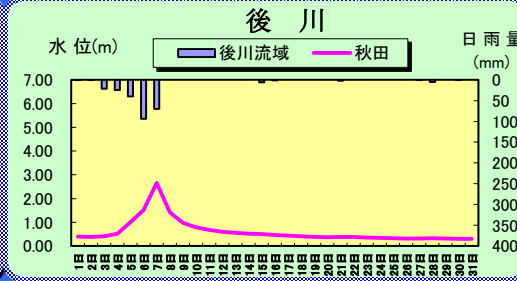
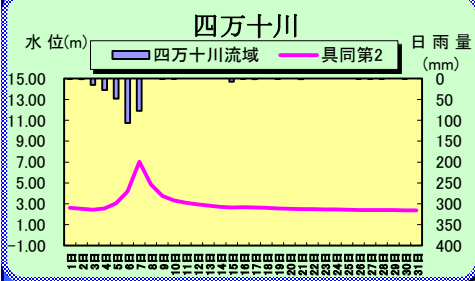
「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

8月の四万十川の様子



雨量・水位データ



8月の四万十川流域平均雨量290mmは平年の0.8倍程度の雨量です。
 なお、過去10年間の平均雨量は380mmです。
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。
 ※測定値は全て速報値です。

四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス (0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」 <http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」 <http://i.river.go.jp>

